

(6) 文書館の刊行物

ア 冊子目録

(ア) 古文書

当館では、収蔵古文書のうち整理作業が終了したものから、順次『収蔵史料目録』を刊行している。

『収蔵史料目録』では、古文書1点ごとの目録情報(資料番号・標題・作成年代・作成者・宛名・形態等)に加え、文書群の解題を掲載している。

本目録は、県内の図書館、県外の主要な文書館・図書館等に配布している。



写真9 『収蔵史料目録』

集	書名	内容等	発行年月
1	諸家史料目録 1	<p>当館が開館以来収集した以下の 10 文書群を収録している。</p> <p>(1) 福重氏所蔵金檀家文書(かつらぎ町東谷)(当館寄託)</p> <p>(2) 堀内家文書(当館蔵)</p> <p>(3) 山崎家文書(和歌山市大垣内)(当館寄託)</p> <p>(4) 谷口家文書(和歌山市冬野)(当館寄託)</p> <p>(5) 安楽川村文書Ⅰ(紀の川市桃山町元)(当館蔵)</p> <p>(6) 安楽川村文書Ⅱ(紀の川市桃山町元)(当館蔵)</p> <p>(7) 大川浦文書Ⅰ・Ⅱ(和歌山市大川)(当館蔵)</p> <p>(8) 蜜柑方元締文書(有田市北湊)(当館蔵)</p> <p>(9) 山裾織布場文書(和歌山市坂田)(当館蔵)</p> <p>(10) 中尾家文書(海南市下津町梅田)(当館蔵)</p>	平成8年3月
2	日高郡中津川村岡家文書目録	<p>日高郡中津川村(現日高川町中津川)は日高郡江川組に属し、藩庁に年貢を納める御蔵所であった。岡家は代々中津川村の庄屋を務め、明治以降は戸長・村会議員などを歴任した。</p> <p>岡家文書(当館蔵)は、同家に伝わる江戸末期から昭和期までの約1,800点の文書群であり、村政や家政に関する資料が含まれている。</p>	平成10年3月
3	海部郡木本村高橋家文書目録	<p>江戸時代に紀州藩の根来役や鳥見役を務めていた高橋家は、海部郡木本村(現和歌山市木ノ本)の庄屋を務め、明治以降は戸長なども務めた。</p> <p>高橋家文書(当館寄託)は、江戸時代(主に幕末)から大正期までの約4,300点の文書群であり、ビタミンAの研究で世界的に著名な高橋克己(1892～1925)に関する資料も含まれる。</p>	平成11年3月

集	書名	内容等	発行年月
4	移管資料目録	<p>当館開館時に、和歌山県立図書館及び県史編さん班から移管を受けた約 2,100 点の文書を収録している。</p> <p>これらの資料の出所・作成時期・内容は様々であるが、①紀州藩関係資料、②検地帳・名寄帳など各地域の土地に関する台帳、③「御用留」など近世の村支配や村経営に関する資料、④近現代の役場文書や商家文書など、に大別される。収録資料は以下のとおりである。</p> <p>(1) 県史編さん班移管資料 (当館蔵) (2) 小山家文書 (旧龍王神社文書) (美浜町三尾) (当館寄託) (3) 和歌山県史 七 (当館蔵) (4) 県立図書館移管資料 (当館蔵)</p>	平成12年3月
5	かつらぎ町天野 丹生家文書目録／ 海南市黒江 尾崎家文書目録	<p>丹生家文書 (当館寄託) は、丹生都比売神社 (かつらぎ町天野) の神職を代々務め、明治以降には天野村の村長などを歴任した家に伝えられた 655 点の文書群である。神社の由緒・祭礼・社領に関する資料、神職に関する資料、明治以降の官吏の辞令書などがあり、このうち中世文書の卷子 10 巻は県指定文化財になっている。</p> <p>尾崎家文書 (個人蔵) は、中世より名草郡大野郷 (現海南市) 鎮守春日神社の宮座、大野十番頭の一員として地域支配を行い、江戸時代には海士郡代官等も務めた尾崎家に伝えられた 850 点の文書群である。神社・宮座運営にかかわる資料、各時代での勤め・軍功に関連する資料、当主久忠が寛保期 (1741～44) に建立した久豊寺に関する資料がある。</p>	平成13年3月
6	粉河町荒見 北一夫氏旧蔵北家 文書目録	<p>現紀の川市荒見 (近代以前は荒見村又は安良見村) に所在した北家は中世以来の土豪で、江戸時代には高野山寺領地土、明治以降には当主が区長・郡長などを務めた家である。</p> <p>北一夫氏旧蔵北家文書 (当館蔵) は、約 4,750 点にのぼり、公務関係文書、神社宮座関係文書、個人の家文書が含まれ、中世から近代に及ぶ幅広いものとなっている。</p>	平成16年3月
7	紀州藩士諸家文書 目録	<p>紀州藩士の諸家に伝わった以下の 6 文書群を収録している。</p> <p>(1) 軍学者宇佐美定祐文書 (当館寄託) (2) 早川家文書 (当館寄託) (3) 西山家文書 (当館蔵) (4) 小川家文書 (当館蔵) (5) 岡本家文書 (当館蔵) (6) 大畑家文書 (複製)</p>	平成19年7月
8	御坊市藤田町 瀬戸家文書目録	<p>日高郡藤井村 (現御坊市藤田町藤井) は、江戸時代には日高郡江川組に属し、瀬戸家はこの江川組や天田組の大庄屋を務めたほか酒造業も営んでいた。</p> <p>瀬戸家文書 (当館寄託) は瀬戸家に伝えられた約 3,300 点にのぼる文書群であり、なかでも大庄屋の職務に関する資料が多数含まれている。</p>	平成21年3月

集	書名	内容等	発行年月
9	紀の川市名手市場 堀家文書目録	<p>那賀郡市場村（現紀の川市名手市場）は、江戸時代に紀州藩領となり、藩の蔵に年貢を納める御蔵所であった。堀家は市場村の庄屋などを務め、後に胡乱者改助役や流木取締方にも任命された。</p> <p>堀家文書（当館寄託）は、こうした資料から官頭座（紀ノ川の渡し船の経営団体）、名手八幡神社宮座、錦絵や商店の引き札など、寛永年間（1624～43）から昭和20年代までの約3,900点を収録している。</p>	平成22年3月
10	紀州家中系譜並に 親類書書上げ（上）	<p>『紀州家中系譜並に親類書書上げ』（当館蔵）は、紀州藩士の履歴書とも言うべきもので、総点数は約15,700点にのぼる。</p> <p>紀州藩では、各藩士に家督相続や新規召抱え等の際に「系譜」及び「親類書」の提出を義務づけており、これらを氏名・</p>	平成23年3月
11	紀州家中系譜並に 親類書書上げ（下）	<p>役儀・歴代当主（及び提出者）・提出年月などの項目により編集したのが本目録である。</p> <p>上巻は、「あ」（相川）から「そ」（曾原）までの7,600点余りを収録している。下巻は、「た」（田井）から「わ」（藁科）までの8,000点余りを収録している。</p>	平成24年3月
12	諸家文書目録2	<p>以下の11文書群を収録している。</p> <p>(1) 貞木家文書（和歌山市木ノ本）（当館蔵） (2) 平松家文書（和歌山市）（当館寄託） (3) 垣内家文書（和歌山市木ノ本）（当館寄託） (4) 高橋哲郎家文書（和歌山市木ノ本）（当館寄託） (5) 大須賀家文書（和歌山市北新）（当館寄託） (6) 幸前家文書（和歌山市木ノ本）（当館寄託） (7) 坂田村文書（和歌山市坂田）（当館蔵） (8) 角谷家文書（和歌山市西浜）（当館蔵） (9) 中筋家文書（和歌山市祢宜）（当館蔵） (10) 西松江村文書（和歌山市）（当館蔵） (11) 加太浦文書（和歌山市加太）（当館蔵）</p>	平成25年3月
13	紀美野町福田 岡本家文書目録	<p>那賀郡神野組福田村（現紀美野町福田）は江戸時代を通じて高野山寺領で、岡本家は高野山から地土格を与えられて庄屋役や触頭を務めた家である。岡本家文書（当館寄託）は、江戸時代から昭和初年にかけての約4,000点の文書群であり、このうち930点は和歌山県指定文化財となっている。</p>	平成26年3月

(イ) 公文書

集	書名	内容等	発行年月
1	和歌山県公文書簿冊目録 第1集	平成5年度に知事部局から移管された永久保存文書のうち、昭和40年度までに事案が完結した文書を収録している。	平成9年3月
2	和歌山県公文書簿冊目録 第2集	平成5年度から同10年度までに知事部局から移管された永久保存文書のうち、昭和43年度までに事案が完結した文書を収録している。第1集の改訂版として刊行した。	平成11年3月

(ウ) 行政刊行物等

号	書名	内容等	発行年月
1	和歌山県立文書館所蔵 行政資料目録 第1号（和歌山県および県内市町村発行分）	平成5年4月から同8年9月までの間に収集した和歌山県及び県内市町村発行の行政刊行物を収録している。	平成9年3月
2	和歌山県立文書館 歴史図書・行政刊行物目録	平成21年3月末時点で所蔵する行政刊行物及び歴史図書等を収録している。	平成23年3月